

ヒカゲシビレタケ *Psilocybe argentipes*

モエギタケ科シビレタケ属

(特記事項) マジックマッシュルームの一種で、麻薬及び向精神薬取締法で麻薬原料植物及び麻薬として規制されている。使用することも所持することも違法である。

概要

地方名	
傘の大きさ	2～5 cm 程度
形と色	傘 : 黄土色から褐色。円錐形で、中央が盛り上がって尖っている。表面は平滑。湿時粘性がある。 ひだ : 紫褐色で、密である。 柄 : 細長く中空。つばはない。肉を傷付けると青く変色する。
発生時期	春～秋
発生場所	公園, 林の日陰部分に発生。
その他	
症状	中枢神経系の幻覚症状が現れると考えられている。
毒性成分	シロシビンなど催幻覚成分を含む。
間違えやすい食用きのこ	シロマツタケモドキ, ハラタケ, ツクリタケ

(写真図説)

ヒカゲシビレタケの肉を傷付けると青黒く変色する。



詳細

1 特徴

(1) 毒性成分 *1	(成分名)	シロシビン, シロシン
	(構造式)	
	幻覚成分として, シロシビン, シロシンを含有する。	
(2) 食中毒の型	神経系中毒	
	(毒性成分の含量)	
	(毒性発現機構)	
(2) 中毒症状 *1	摂取後 30 分から 1 時間程度で, めまい, 催眠, 幻覚, 手足のしびれなどの中枢神経症状を示す。数時間持続した後, 回復する。	
(4) 発症時間	30 分から 1 時間程度	
(5) 発症事例	(症例 1)	
	(症例 2)	
	(その他)	
(6) 中毒対策		

2 毒性成分の分析法

(1)	HPLC 蛍光分析法により定量 *3
	(図解)

3 その他

諸外国での状況	
参考になる情報	

4 間違いやすい食用きのこ

1	一般名	
	学名	
	発生場所	
	発生時期	
	形態	

引用・参考文献

- 1) 長沢栄史. 「フィールドベスト図鑑 14 日本の毒きのこ」(株) 学習研究社

- 2) Nakashima K, Ishida A, Katsumata M.: Comparison of Proteolytic-Related Gene Expression in the Skeletal Muscles of Layer and Broiler Chickens. *Biosci. Biotech. Biochem.*, 73, 1869-1871 (2009).
- 3) Saito K, Toyo'oka T, Kato M, Fukushima T, Shirota O, Goda Y.: Determination of psilocybin in hallucinogenic mushrooms by reversed-phase liquid chromatography with fluorescence detection. *Talanta*, 66, 562-568 (2005).